



2004年度山武事業総括と今後について

株式会社 山武

2005年5月12日

本資料に記載されている当社の現在の計画、目標等過去の事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報を基とする合理的な判断に基づくもので、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果になることがあります。

2004年度連結業績

単位：億円

	2003年度	2004年度			年度比較	
	実績(a) (2004.5.13)	当初予想 (2004.5.13)	修正予想 (2004.11.11)	実績(b) (2005.5.12)	増減(b-a)	%
売上高	1,700	1,790	1,800	1,808	108	6.4
営業利益	68	83	91	94	25	37.1
売上比%	4.0	4.6	5.1	5.2	1.2	
当期利益	32	20	29	37	¹ 5	14.4

ROE

3.5%

3.8%

6.1%

² (特別損失の影響を除いた
場合ROE参考値)

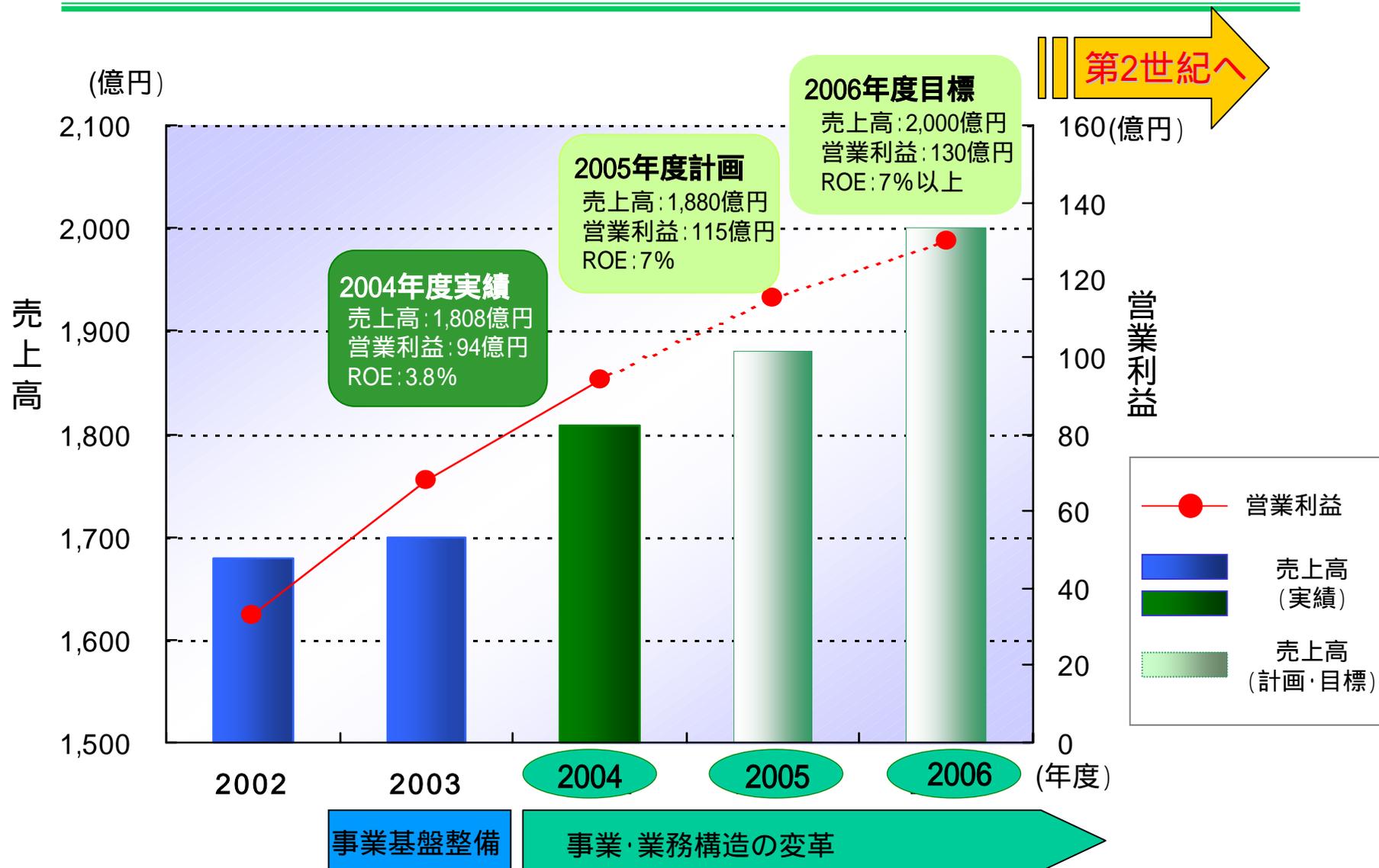
● 業績目標を達成。中期経営目標達成に向けての着実な第一歩

- ・ 売上高、営業利益とも当初・修正予想を上回り、それぞれ1,808億円、94億円を達成
- ・ 増収増益(各セグメントとも増収。アドバンスオートメーション事業は大幅な増益)

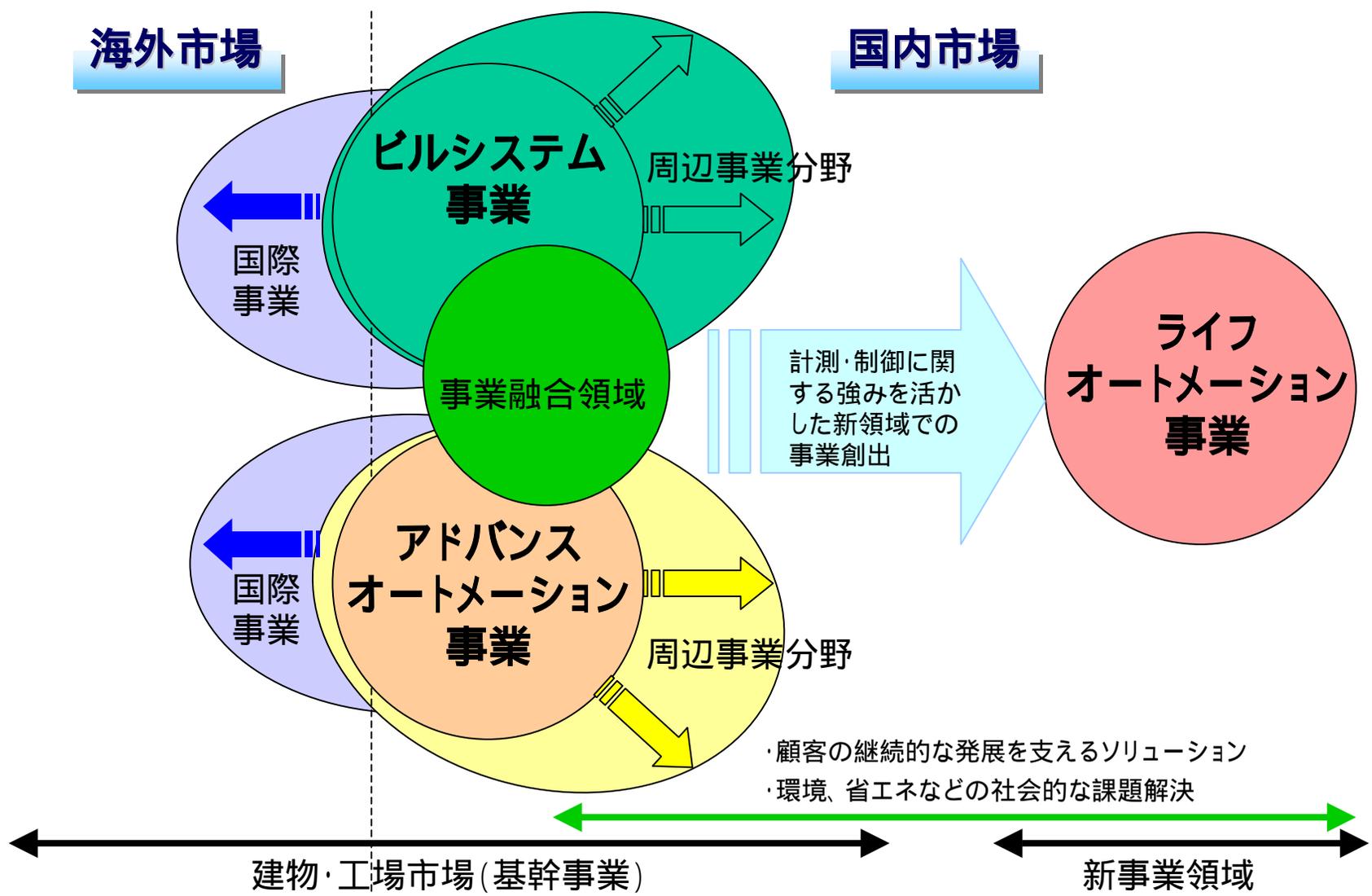
1: 特別損失として、確定拠出年金への移行に伴う適格退職年金制度終了損約35億円を計上

2: 上記移行が行われなかった場合のROEは6.1%に相当(参考値)

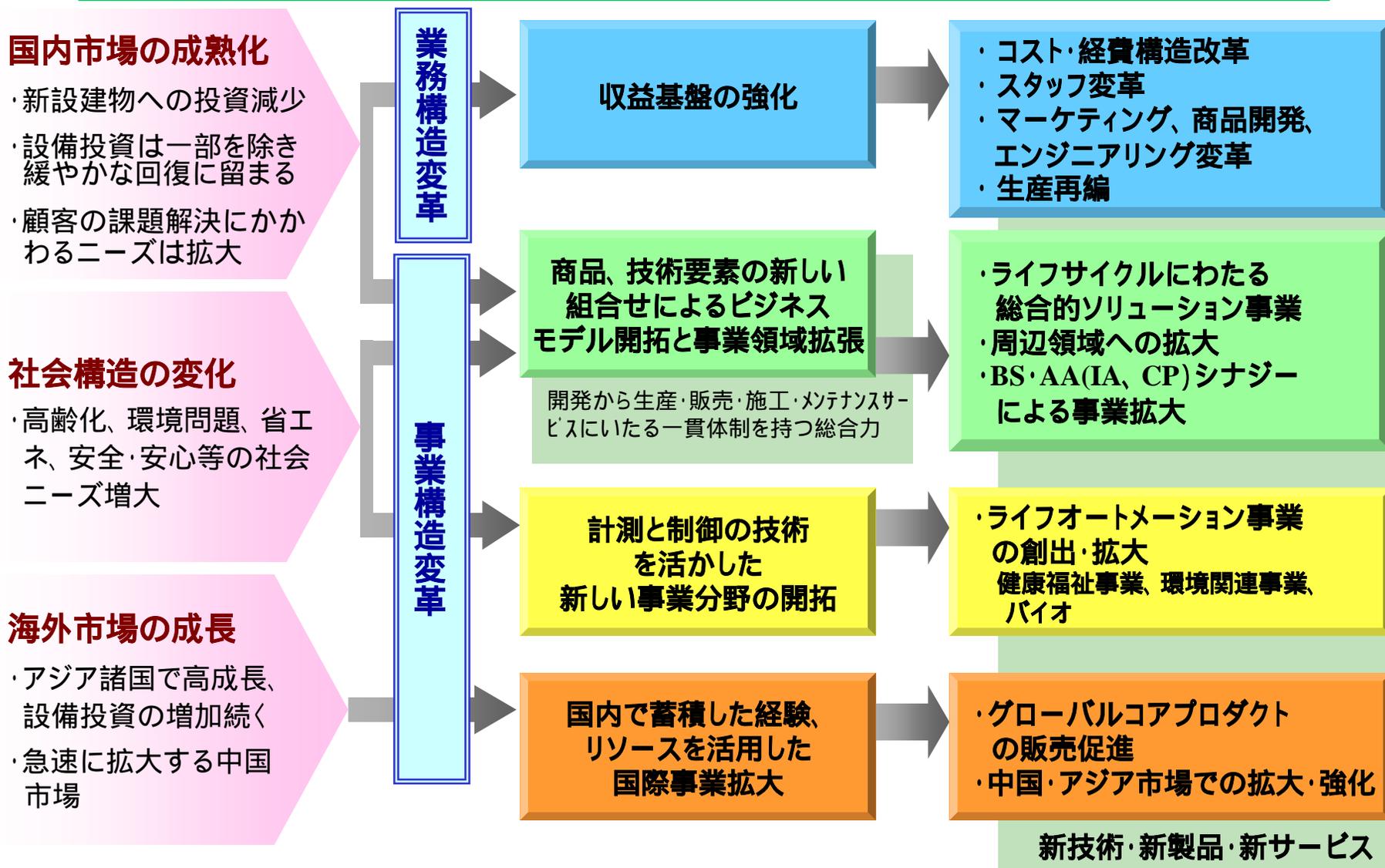
中期経営戦略目標



事業構造の変革と領域拡大



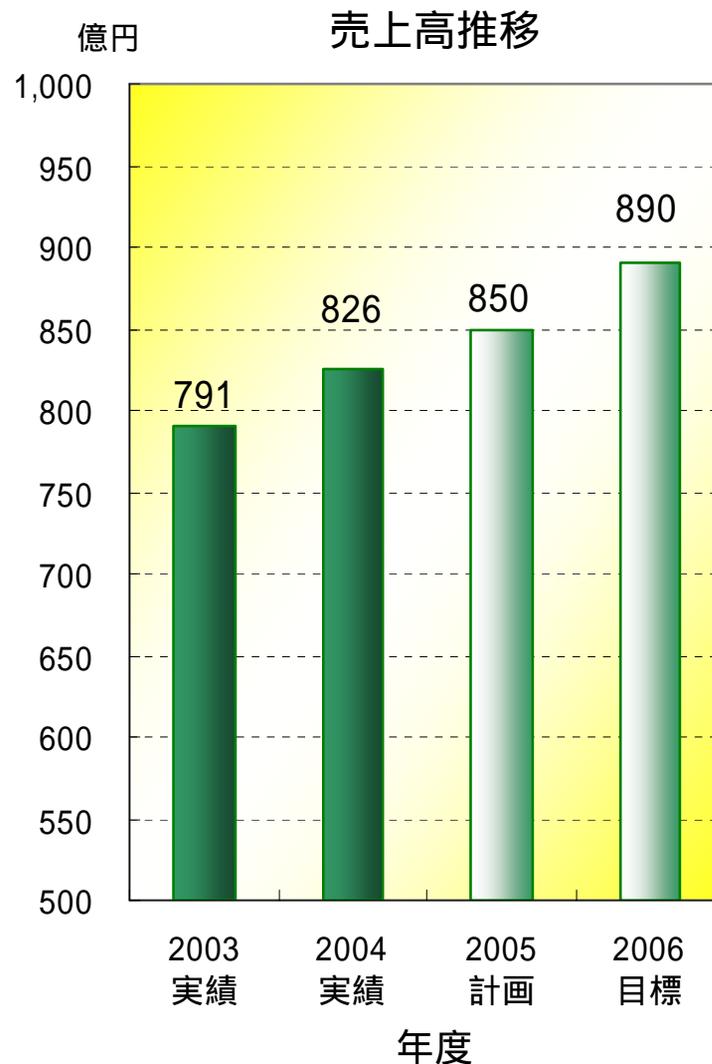
事業環境の認識と施策

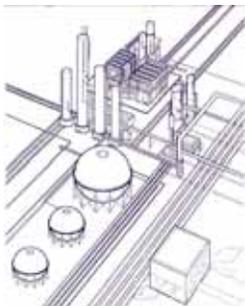




ビルシステム事業

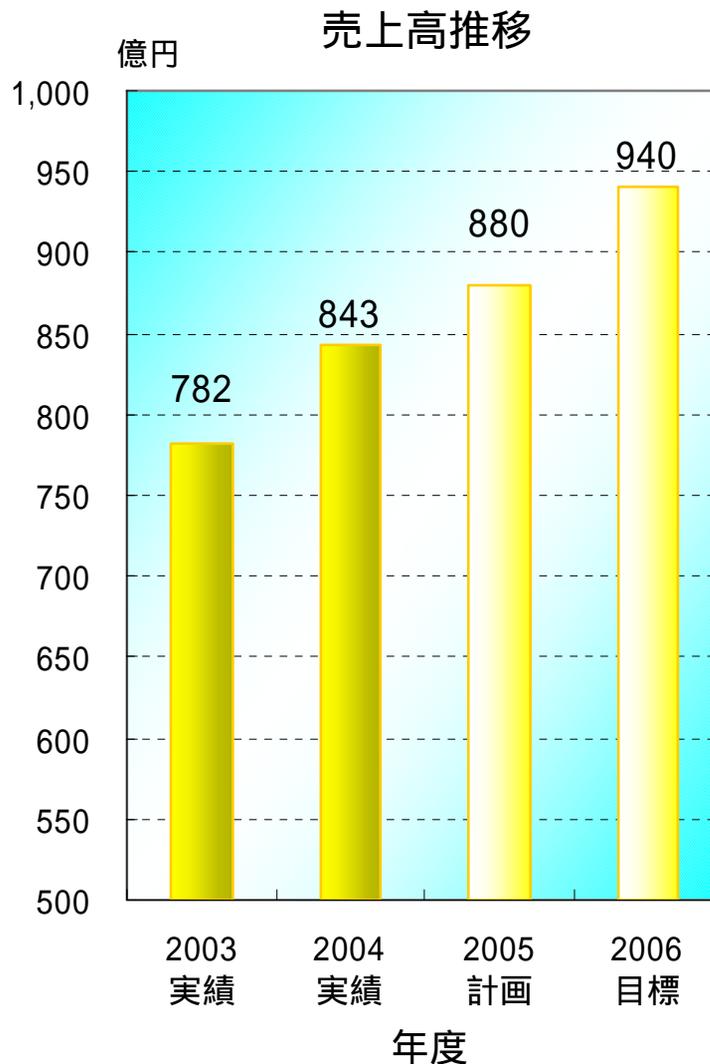
- 新設建物市場におけるオフィス物件は現在を底に回復の見込み
- 活況の続く工場向け事業を深耕
工場建物と生産設備の統合的エネルギーマネジメント分野(アドバンスオートメーション事業との融合領域)を拡大
- 既設建物の省エネルギー・省コストを追及する総合エネルギー管理サービス(TEMS)を拡大
- セキュリティ事業の強化と海外市場での事業拡大(中国、韓国、台湾注力)





アドバンスオートメーション事業

- 電機・電子、半導体、自動車関連を中心にプロダクト事業が大幅に伸長、さらに拡大の見込み
- ファクトリーオートメーション・ハイブリッドオートメーション市場や周辺事業領域における拡大
- 海外での事業拡大促進
 - 中国(重点市場)・アジア中心
 - プロダクト事業を展開
- 収益構造の改革
 - 原価改善、高利益製品へのシフト、業務プロセスの変革



ライフオートメーション関連事業

少子高齢化など新たな社会ニーズに適合した、環境分野やケア・サービスなど健康福祉分野でのライフオートメーションともいえる新たな事業分野の創出・拡大。売上高約50億円を3年後倍増へ。

● 健康福祉事業

- 緊急通報、健康相談、介護サービスの拡大
- 疾病管理、介護予防など、社会ニーズの変化に対応した新たな事業分野開拓



介護サービス

● 環境関連でのライフオートメーション事業

- 食の産業(トレーサビリティ)およびライフライン安全(都市環境防災)が立ち上がり、拡大

● バイオなどのライフオートメーション関連事業、技術の開発を推進



トレーサビリティ

業務構造の変革

各業務機能の創造的協働による 生産性・課題解決能力の向上

- 業務の構造化・可視化
- 集中・融合(地理、機能)

- スタッフ生産性向上 と本社(コーポレート、2カンパニー)集約
- 人的リソースの集合による研究・商品開発・エンジニアリング機能の連携、強化
- 生産再編(技術・製品別、機能別生産体制へ転換)

スタッフ業務改革：8,500業務を可視化。内6,000業務をマニュアル化。不要な業務の廃止・削減、重複機能の統合により20%の業務効率化を実施。

独自技術・新製品による商品力強化

- **出入管理システム IDSMART™**
 - オフィス、研究所、工場等のセキュリティ強化ニーズに応える低コストで高度な出入管理システム
- **省エネ型クリーンルーム空調コントローラ Infilex CR**
 - クリーンルーム向け省エネコントローラ。数理計画型モデリング予測技術により省エネと高精度な制御を両立
- **高温隔膜真空計(サファイア静電容量式圧力センサ)**
 - 半導体製造プロセス向け。耐食性が高い工業用サファイアを圧力検出部に採用。半導体プロセスの歩留まり向上に貢献
- **鏡面冷却式露点計「FINEDEW™」**
 - 燃料電池、科学計測市場向け。燃料電池セル湿潤状態管理など拡大が予想される湿度・露点計測の需要に対応
- **ポリマーマスキング技術を用いたISS法による高感度DNAチップ開発**
 - 分子生物学、臨床医学の研究者向けDNAチップ



省エネ型クリーンルーム
空調コントローラ Infilex CR



サファイア高温隔膜真空計

2004年度配当

2004年度年間配当を23円に9円増額予定

	(中間)		(期末)		(年間)
2004年度(予定)	10円	+	13円	=	23円
					
2003年度(実績)	6円		8円		14円

- 公表(2004年11月11日の[修正]配当予想)通り

2005年度配当予想

2005年度年間配当を40円に、さらに17円増額し
併せて、100周年記念配当10円を実施予定

(中間)

(期末)

(年間)

2005年度(予定) 20円 + 30円 = 50円

通常配当

10円

+

7円

=

17円

記念配当

0円

+

10円

=

10円

2004年度(予定)

10円

13円

23円

株主還元の一層の促進

- 業績向上による株価上昇と併せた、株主の皆様の(インカムゲインの)ニーズへの対応
- 内部留保は、成長(事業拡大、収益性向上)による企業価値向上に活用
- 将来の業績動向、財務状況等を十分考慮し、将来に亘って維持・向上していける水準

配当の推移

	2002年度 (実績)	2003年度 (実績)	2004年度 (予定)	2005年度 (予定)
	年間	年間	年間	年間
1株当り配当金 (円)	12.0	14.0	23.0	50.0
通常配当 (円)	12.0	14.0	23.0	40.0
記念配当 (円)	0.0	0.0	0.0	10.0
配当金額 (億円)	8.8	10.3	16.9	36.8
株主資本配当率 (%)	1.0%	1.1%	1.7%	3.5% (予測)
配当性向 (%)	16.6%	31.8%	45.6%	47.2% (予測)

1

2

1: 2.8% + 記念配当10円分 (0.7%)

2: 37.7% + 記念配当10円分 (9.5%)